



2023年7月27日

各 位

会 社 名 アジャイルメディア・ネットワーク株式会社  
代表者名 代表取締役社長 宮地 広志  
(コード番号 6573 グロース)  
問合せ先 取締役 CFO 川上 元樹  
(TEL 03-6435-7130 (代表))

## 子会社の設立及び新たな事業の開始に関するお知らせ

当社は、本日開催の臨時取締役会において、子会社を設立すること及び新たな事業を開始することについて決議しましたので、下記のとおりお知らせします。

### 記

#### 1. 新たな事業の開始及び子会社の設立の目的・理由

当社グループは、「個の力を最大化し、“小さな経済”を成長させる」をミッションに掲げ、企業やブランドのファンの育成・活性化を支援するアンバサダーマーケティング事業を主軸事業としており、当社の子会社である株式会社コンフィにおいて TikTok アカウント運用代行サービス事業の構築、認知拡大を目指しています。また、当社グループの事業戦略の一環として、新規事業の領域を拡大し、新たな収益セグメントとして確立していくことを目指し、取り組んでいます。

当社グループではマーケティングコミュニケーション支援を様々な企業に提供することを主軸に活動してまいりました。しかし、当社グループは、当社グループ自身のファンが存在しないことについて、次の課題意識を持っておりました。

- ・売上の対象が企業のマーケティング費用に限られること
- ・「ファン」のデータはクライアントのものなので当社グループの資産として活用できないこと

そこで当社グループは、マーケティング支援だけでなく、当社グループが自ら企画・製造・販売まで一貫して行える新しいセグメントを獲得したいとも考えておりました。当社グループでの製造ラインを確保することができれば、マーケティング支援により得られた市場のニーズにいち早くダイレクトにお応えすべく、そのニーズに合わせた当社グループ独自の製品やサービスをご提供でき、当社グループ自身のファンが出来ると思ったためです。これにより、下記を実現して

いきます。

- ・マーケティング費用以外から売上を作る事業を持つこと
- ・当社にて「ファン」を抱え、事業に活用していくこと

ここで、2023年4月28日付「合弁契約締結による業務提携に関するお知らせ」及び2023年6月1日付「(開示事項の経過)合弁会社設立完了に関するお知らせ」で開示のとおり、当社の関連会社である papaya japan 株式会社(以下、「papaya」と言います。)にて韓国に特化したアパレル・コスメに係る WEB サイト運営及びインフルエンサー関連事業を開始しております。その中で、当社グループが自ら企画・製造・販売まで一貫して行える領域として、papaya における事業と関連するアパレル・コスメの周辺を模索しておりましたところ、健康美容系の領域に着目いたしました。健康美容系の主要顧客層は当社グループでのマーケティング事業でターゲットとする層と近似しており、当社グループがこれまで蓄積した Web マーケティングに関する知見を活かすことのできる領域だからです。健康美容系の中でもとりわけ「酸素ボックス」商材に着目いたしました。当社グループは、酸素ボックス商材については、当社グループが得意とする SNS を活用した Web マーケティング手法による反響営業が行いやすい業種であること、現時点では競合他社が少ないこと、後述のとおり必要な知見を有すことが今後できることから、いま当社グループが参入しても勝ち筋が見えやすい商材であると判断しております。

以上の理由から、このたび新たな事業として、酸素ボックス商材を企画・製造・販売することを決定いたしました。

また、当社グループは、新設する子会社にてこの事業を実施いたします。上述のとおり当社グループは自ら企画・製造・販売までを一貫して行えるセグメントを獲得したいと考えておりましたが、この点、酸素ボックス商材は構造がシンプルですので、商品設計のノウハウは必要ではありませんが、商品設計さえしっかり行うことができれば、高い技術力を必要とせず、生産自体はファブレス(自社工場を保有しない)で行いやすいという利点があり、設備投資などの参入障壁が低いことが分かっております。当社グループとしては、酸素ボックス商材に関する事業についてノウハウを有する者の雇用等により、商品設計及び製造後の販売ルート等のノウハウを獲得する予定であります。ただし、当面の間は商品設計や試作品開発を行う必要があります。そのためには、事前に生産体制構築、商品仕入先・部材供給先選定、ファブレスのための OEM 工場選定、協力者(コンサル、アドバイザー)の選定、販売先、卸先、宣伝方法検討、商材の設計、試作、テスト販売、マーケティングリサーチ、リーガルチェック、必要許認可確認、事業計画といった様々な研究・開発・準備行為(以下「新規事業準備行為」といいます。)が必要です。また、当社グループにとっては新たな業態である製造や販売を行うこととなりますので、従来の当社グループと異なる社内規程、管理方法、評価測定指標や業績管理手法を設けるべきと考えており、そうすると新たに子会社を設立した方が、新規事業準備行為とその後の企画・製造・販売活動を行うに際して柔軟なグループ運営に資するため、より妥当であると判断いたしました。なお、酸素ボックス商

材に関する事業についてノウハウを有する者を雇用する目途が立っております。

ちなみに、今回は、第1段階として新規事業準備行為のみを実施いたします。現時点でも、おおよその検討や発注先候補の選定を済んでおりますが、上述のとおり新たな子会社にて実施した方がよいと判断したため、実際の設計・試作品発注を一時的にストップさせております。そこで、まずは小規模な子会社としてスタートし、この子会社にて試作品などを発注するなど新規事業準備行為を実施します。これらが完了する頃に追加で増資し、第2段階としての製造・販売活動を開始する予定です。

以上の理由から、このたび新たな子会社を設立することを決定いたしました。

## 2. 設立する子会社の概要

①	名 称	and health 株式会社 (アンドヘルス)
②	所 在 地	東京都港区虎ノ門四丁目1番40号
③	代表者の役職・氏名	代表取締役社長 宮地 広志
④	事 業 内 容	酸素ボックス等の高気圧酸素機器及び酸素発生機的设计、開発、製造、販売、レンタル並びに輸出入等
⑤	資 本 金	100千円
⑥	設 立 年 月 日	2023年7月31日(予定)
⑦	決 算 期	12月
⑧	出 資 比 率	アジャイルメディア・ネットワーク株式会社：100%
⑨	当事会社間の関係	
	資 本 関 係	当社が100%出資する子会社として設立します。
	人 的 関 係	当社代表取締役社長である宮地広志が代表取締役に就任予定です。
	取 引 関 係	当社へのバックオフィスに関する業務委託契約及び広告宣伝業務を委託することを予定しています。

## 3. 日程

①	取 締 役 会 決 議 日	2023年7月27日
②	会 社 設 立 日	2023年7月31日(予定)

## 4. 今後の見通し

本件が当社の連結業績に与える影響については、現在精査中であり、適時開示が必要になった場合には速やかにお知らせします。また、新規事業準備行為が進み、製造・販売活動を開始できる見込みが立ち次第、そちらも追って詳細を開示させていただきます。

以上